

全体	目次	前回	次回	略解	樋口さぶろお <sup>a</sup> 更新 Time-stamp: "2004/01/21 Wed 17:54 hig"
----	----	----	----	----	---

## 12.4 前回の quiz の略解

### quiz 略解 22

$\frac{dU}{dx}(x) = -\sin(x) = 0$  となるのは,  $x = n\pi$  ( $n$  は整数). これらが平衡点.  
 $k = \frac{d^2U}{dx^2}(n\pi) = -\cos(n\pi) = (-1)^{n+1}$ . なので,  $x = n\pi$  ( $n$  は偶数) が不安定な平衡点.  $x = n\pi$  ( $n$  は奇数) が安定な平衡点.  $x = n\pi$  ( $n$  は奇数) の近くでは, 位置エネルギー  $U(x)$  と力  $F(x)$  は,

$$U(x) = -1 + \frac{1}{2}(x - n\pi)^2 + \dots \quad F(x) = -\frac{dU}{dx}(x) = -(x - n\pi) + \dots$$

---

<sup>a</sup>Copyright ©2003 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

よって運動方程式は,  $x = n\pi$  ( $n$  は奇数) の近くで

$$m \frac{d^2 x}{dt^2}(t) = -(x(t) - n\pi). \quad (303)$$

ここで,  $X(t) = x(t) - n\pi$  とおくと,  $\frac{d^2 X}{dt^2}(t) = \frac{d^2 x}{dt^2}(t)$  より,

$$m \frac{d^2 X}{dt^2}(t) = -X(t). \quad (304)$$

$X(t) = e^{\lambda t}$  とおくと, (中略)  $\lambda = \pm \sqrt{1/m}i$ . よって, 解は,

$$X(t) = C_1 e^{+\sqrt{1/m} \cdot it} + C_1 e^{-\sqrt{1/m} \cdot it}$$

$$x(t) = C_1 e^{+\sqrt{1/m} \cdot it} + C_1 e^{-\sqrt{1/m} \cdot it} + n\pi$$

$e^{i\omega t}$ , あるいは  $\sin \omega t, \cos \omega t$  の周期は  $\frac{2\pi}{\omega}$  であることから, この微小振動の周期は,  $\frac{2\pi}{\sqrt{1/m}} = 2\pi\sqrt{3}$ .

## quiz 略解 23

$\omega = \sqrt{k/m}$  として,

$$x(t) = A \cos \omega t, \quad (305)$$

$$y(t) = 2A \sin \omega t \quad (306)$$

となる.  $t$  を消去すると,

$$x^2 + \left(\frac{y}{2}\right)^2 = A^2$$

より, 楕円.

## 13. ファイナルトリアル

出題範囲は、原則的には物理数学 演習 II 全体です。

が、主な範囲は冬のプチテスト以降です。ただし、その範囲を解くにも、(物理数学 演習 I を含め) それ以前の知識は必要でしょう。

また、この主な範囲とは別に、

- 変数分離型微分方程式
- 2 階微分方程式  $a \frac{d^2 x}{dt^2}(t) + b \frac{dx}{dt}(t) + cx(t) = 0$
- 単振動, 減衰振動, 過減衰

は再度出題します。